

令和6年3月1日

広島県知事様

郵便番号 730-8511
住所 広島市中区基町10-52
事業者名 広島カキ商事(株)
代表者 山田 太郎

アニマル・スピリッツをもつ企業の海外展開挑戦支援事業補助金交付申請書

このことについて、アニマル・スピリッツをもつ企業の海外展開挑戦支援事業補助金交付要綱第3条の規定により、補助金の交付を受けたいので、関係資料を添えて申請します。

1 補助金交付申請額

補助事業に要する経費 金 6,300,000 円（税込）

補助金交付申請額 金 4,000,000 円（税抜）

2 添付書類

- 事業計画書（別紙1のとおり）
- 収支予算書（別紙2のとおり）
- 商業登記簿謄本（現在事項全部証明書）
- 直近3ヶ年分の決算書（損益計算書・貸借対照表のみ）
- その他参考となる資料（任意）

【申請担当者情報】

部署名：総務部

担当者：鈴木一郎

電話：082-xxx-xxxx

電子メール：xxx@xxx.jp

別紙 1

アニマル・スピリッツをもつ企業の海外展開挑戦支援事業計画書

【1 基本情報】（企業名およびこの項目は公開いたします。）

区分	内容
プロジェクト名	ベトナムにおけるカキ加工品の現地生産・販売に挑戦！
プロジェクトの概要 （3行程度で簡潔に）	ベトナムに自社カキ加工販売施設を設置。 提携先から原料を仕入れて、現地雇用したスタッフが加工作業を行い、当社社員が駐在して販売を行う。
プロジェクトの新規性※ （しっかりと記載下さい）	現在、広島でカキ加工品の製造販売を行っており、一部海外（ベトナム・中国）に輸出している。今回、〇〇銀行の紹介でベトナムホーチミン市の海産卸〇〇社と提携し、同市の〇〇地区に加工場兼販売スペースを新たに設置、当社〇〇部の職員を駐在させて加工品の現地生産・販売を行うことにしたい。生産する商品は基本的には従前と同じであるが、現地生産のメリットを活かし、当地のニーズに柔軟に対応し販路拡大を目指す。

※今までの取組内容及び今回の取組内容を必ず記載し、現在の取組と比較して何が新規なのか、一見してわかるようにわかりやすく具体的に記載してください。本補助金は新規性を大前提としていることから、新規性が明確に読み取れない場合は、審査により不採択といたします。（この欄の記載内容のみで判断します）

【2 プロジェクトについて】

実施の背景及び課題意識、目的を明確にしたうえで、プロジェクトの詳細を説明ください
<p>国内市場が縮小する中で、もともと海外進出の必要性は認識しており、国内の輸出向け展示会、ベトナムや中国の展示会（R〇年〇〇展示会）への出展、ジェトロの紹介で国内外のビジネスパートナーを探して営業活動を行っていた。また、〇〇商社を通じて中国（H〇年から）、ベトナム（H〇年から）のスーパー等に商品を卸しており、消費者からの反応も良く、売り上げも R〇年度に〇千万円程度と堅調に成長していた。</p> <p>これら取組を行う中で、仕入価格の上昇や人件費の増大から、生産コストの上昇という問題が課題としてあり、また、消費地の近くで生産する場合は、品質の担保や労働力の確保、販路の確保といった課題があった。</p> <p>この度、今回、〇〇銀行の紹介でベトナム国ホーチミン市の海産卸〇〇社と提携することとなり、同社の実績から、品質や労働力、販路といった課題が解決されたため、加工品の現地生産を行うこととした。（〇〇社の詳細：〇〇年設立、～～に販路を持ち、～～といった実績がある）</p> <p>4月以降、〇〇地区の物件を賃貸し、内装工事と設備で〇百万円程度の設備投資を行う。同時に、ネット広告や現地でのイベントなどのプロモーション活動も行う。（なお、現地法人は設立せず、当社直営での対応とする。）</p> <p>1年後には、今回の設備投資を軌道に乗せて生産体制を確立し、3年後にはベトナム国におけるポジションを確保して安定した販路を確保したい。</p>

進出する市場を分析し、自社およびプロジェクトの強み・優位性を説明ください

ベトナム国は 2022 年の実績で人口〇〇千万人、GDP の成長率〇%と成長中であり、同国向けの当社の売上も、R〇年〇円、R〇年〇年と堅調に推移しており、現地での反応は良い。

また、パートナーの〇〇社は～といった実績があることから仕入れ原料の品質、人材の確保、また販路についても期待が持てると判断している。

同国においては、海産物を好んで消費する傾向にあり、昨年度〇〇研究所に依頼して市場調査においても、当社の商品は一定の知名度があり、同国で既に〇〇万円規模の販売実績があり、有名小売店である〇〇などでも取り扱いがあることから、〇〇社の〇〇といった競合商品と比して競争力があり、～程度目標が達成できると判断している。

スケジュール（年間実施計画および3年間の実施計画）

【年間】

令和6年4月：賃貸借契約、設備の発注

令和6年6月：工事の完了、テスト生産販売開始

令和6年7月：国内スタッフ10名程度が渡航し生産販売の本格的開始

令和7年1月：補助金の実績報告書提出

【3年間】

令和7年度：国際認証である〇〇を取得予定。〇〇でのポップアップストア出店など、今回の加工販売施設を足掛かりに、ブランドの確立、販路の確保を目指す。

令和8年度：令和6・7年度の実績をもとに、プロジェクトを継続するかの判断を行う。

ベトナム国内で2店舗目の設置など、販路の拡大に資する施策の検討。

区分	内容
プロジェクトに取り組む人数（うち専任人数）	10名（1名）
プロジェクトに取り組むメンバーの強みや実績	今回駐在させる予定の職員の〇〇氏は、当社が海外展示会に参加しはじめた時期から海外営業を担当しており、それ以前は県内〇〇工場で生産管理を行っていたために適材と判断した。また〇〇氏のフォローとして、県内〇〇工場で生産管理を行っている▲▲氏はじめ国内スタッフに出張ベースでの対応をお願いする予定であり、当社としては万全の体制をとっている。
プロジェクトに取り組むことによる他社や社会全体への波及効果	同じ県内企業である〇〇社など、海外での生産販売に興味を持つ企業は数社あり、当社の先駆的な取組はロールモデルになりうると自負している。また、当社の商品は〇〇であり、SDGsの観点からも差別化できるどころ、これらの商品がビジネス上も成功すると大きなインパクトがあると考えている。

【3 海外売上計画】

(単位：千円)

区分	直近決算期実績 (R5年3月期)	今期の予想 (R6年3月期)	1年後 (R7年3月期)	2年後 (R8年3月期)	3年後 (R9年3月期)
海外売上高 (全社の額)	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX
海外売上高 (本プロジェクト にかかる額)	—	—	XXXXXX	XXXXXX	XXXXXX

海外売上計画の根拠を具体的に記載ください

当社の商品は既にベトナム国内で年間〇〇百万円程度の売上があり、〇〇研究所に依頼して行った市場調査からも、一定のニーズがあるのは確かである。(市場調査の報告書添付)

直営店の売上及び、今まで日本から輸出していた部分から、〇〇百万円程度の売上は確保できる見込みである。また、提携先の〇〇社との交渉で、仕入価格、数量、人件費においても概ねコミットできており、収支計画も策定済み。(添付)

今回の設備投資においても、当社全体のバランスシートを大きく棄損するものではなく、補助金と自己資金で対応する。なお、プロジェクトの成否は3年後をめどに判断し、計画から大きく乖離する場合は撤退も視野に判断することとしている。

【4 補助対象経費等】

(単位：円)

事業名	補助事業に 要する経費 (税込)	補助対象 経費 (税抜)	負担区分		備考
			県補助金	その他	
①設備投資 (内装工事) (設備)	3,000,000 (2,000,000) (1,000,000)	3,000,000 (2,000,000) (1,000,000)	2,000,000	1,000,000	日本の消費税は非課税
②施設運営 (アドバイザリー外部委託) (旅費)	1,650,000 (1,100,000) (550,000)	1,500,000 (1,000,000) (500,000)	1,000,000	500,000	
③プロモーション	1,650,000 (1,100,000)	1,500,000 (1,000,000)	1,000,000	500,000	

(外部委託) (旅費)	(550,000)	(500,000)			
合計	6,300,000	6,000,000	4,000,000	2,000,000	

【5 実施期間】

(1) 開始予定年月日 令和6年4月1日 (令和6年4月1日以降)

(2) 完了予定年月日 令和7年1月31日

※補助事業の完了期限は、令和7年1月31日までとする。

【6 伴走者およびその役割】

区分	内容
事業者名 (担当者名)	〇〇銀行国際営業部 (〇〇氏)
住所	広島市中区〇〇町1-2
電話番号	082-XXX-XXXX
メールアドレス	YYY@YYY.jp
伴走者の役割	ベトナム大手海産卸〇〇社を紹介いただき、本PJの収支計画の立案やその他提携先の信用調査などに支援を受けている。補助金交付決定後、ベトナム進出にあたって、有償のアドバイザリー契約を締結予定。

【7 加点項目】

区分	該当するものに○を付け、根拠となる資料を添付ください
ひろしまユニコーン10 スタートアップアクセラレーション採択企業	×
スイス (ツーク州)、インド (全土)、中国 (四川省)、 米国 (ハワイ州)、メキシコ (グアナファト州)、ベ トナム (全土) への新規進出	○
広島県から経営革新計画の承認を受け、 かつ事業実施期間が計画期間内	×
新規輸出1万者支援プログラムへの登録	○
パートナーシップ構築宣言企業	○
広島県リスキリング推進宣言企業	○
広島県産応援登録制度企業	×

別紙2

収支予算書

(プロジェクト名：ベトナムにおけるカキ加工品の現地生産・販売に挑戦！)

収 入		支 出	
費 目	金額 (円)	費 目	金額 (円)
自己資金	2,000,000	①設備投資	3,000,000
		②施設運営	1,500,000
		③プロモーション	1,500,000
補助金の額	4,000,000		
合 計	6,000,000	合 計	6,000,000

※税抜きです。また収入と支出の合計は一致させてください。